

北丹沢方面の自然公園情報

日付：令和2年4月10日（金）

コース：大柵沢ノ頭－菰釣山

天気：晴れ 気温：7℃（菰釣山避難小屋、14時半頃）

外出が難しい方も多い社会状況ですが、パークレンジャーの活動状況を見てお楽しみください。

<登山道情報>

- 大柵沢ノ頭から菰釣山避難小屋までは東海道自然歩道の一部です。尾根沿いを歩くコースですが、登りがいのあるコースだと思います。



<自然情報>

- 菰釣山の山頂には気象観測装置が設置されています。また、今の時期にはブナハバチ用の衝突板トラップ（写真右の黄色いバケツ）も設置されています。



- 黄色に誘引され飛んできたブナハバチの成虫が、板に衝突すると下のバケツに落下し捕まえることができます。成虫を捕まえたバケツは週1回のペースで回収、ブナハバチ発生状況の確認を行います。多い時にはバケツいっぱいに入っているそうです。



- どちらの装置も丹沢大山自然再生計画の取組を実施する上で大切な調査です。
- 丹沢大山自然再生計画は現在第3期計画に入っています。計画では丹沢大山を4つの景観域に分け、それぞれの景観域で自然再生目標を掲げています。標高約800メートル以上は奥山域に分類され、“うっそうとしたブナ林の再生”を目指しています。

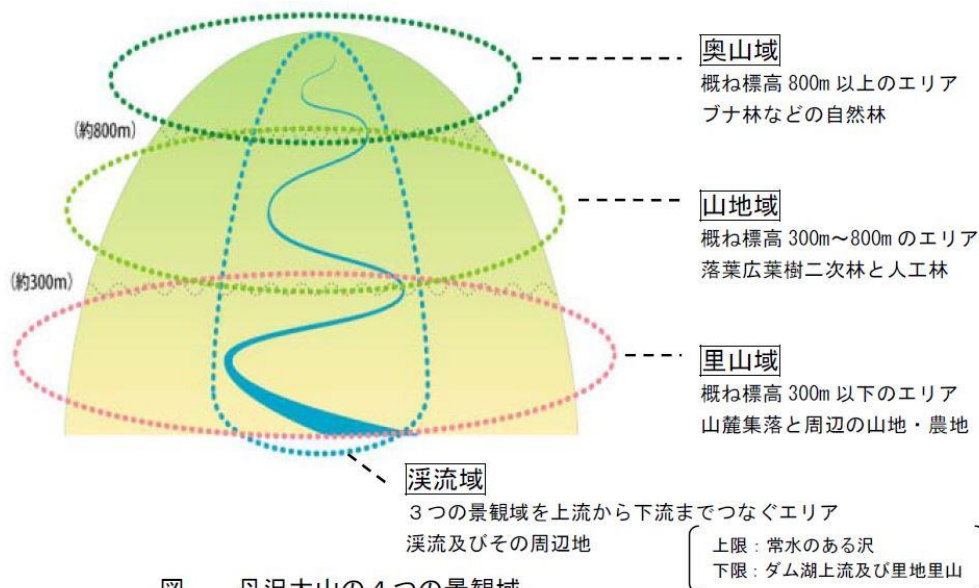


図 丹沢大山の4つの景観域

- 奥山域での取組は衰退しているブナ林などの再生のために、ブナ林の衰退機構の解明や森林再生試験を行ってきました。その結果、ブナ林は大気汚染やブナハバチの大量発生などの複合的な要因が年代により変化し、累積的に衰退してきていることが明らかとなりました。また、この結果からブナ林再生のための技術開発が進展しました。
- これらのことについては丹沢大山自然再生計画のパンフレットなどから引用しています。より詳しく知りたい方は丹沢大山自然情報ステーション【e-Tanzawa】をご参照ください。
 (<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/f4y/03shinrin/e-tanzawa/top.html>)